

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

定 時 総 会 日 程

1. 日 時 平成29年6月6日(木) 午後2時30分～

2. 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟3階 309号室

3. 開 会

- (1) 出席正会員数の確認 園山専務理事(定款第17条第1項により成立している旨の確認)
- (2) 挨拶 齊藤 斗志二 全国スポーツ推進委員連合会長
岡崎 健一 スポーツ庁・健康スポーツ課課長補佐(総括)
- (3) 議長の選任 園山専務理事(定款第15条の規定により出席正会員の中から選出)
- (4) 議事録署名人の選任 議長(定款第19条第2項の規定により、
宮城県会長 石川一美氏、群馬県会長 大谷武夫氏の両氏を指名)
- (5) 公益財団法人ミズノスポーツ振興財団から平成29年度助成金の贈呈
鶴岡 秀樹 ミズノスポーツ振興財団 専務理事

4. 議 事

都道府県スポーツ推進委員協議会会長の異動報告 資料1

(1) 審議事項

- ① 役員選任(理事の補欠選任)について 資料2
- ② 第1号議案 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会(鹿児島県)について 資料3
- ③ 第2号議案 平成28年度事業報告の件
- ④ 第3号議案 平成28年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録承認の件 資料4

(2) 報告事項

- ① 第57回全国スポーツ推進委員研究協議会(福井県)について 資料5
- ② 第58回全国スポーツ推進委員研究協議会(茨城県)について 資料6
- ③ 平成29年度ファミリー健康体力向上事業について
- ④ 平成28年度及び平成29年度リーダー養成講習会について
「リーダー委員会について」(一社)東京都スポーツ推進委員協議会
- ⑤ 機関誌「みんなのスポーツ」及び「スポーツ推進委員手帳」の現況について

都道府県スポーツ推進委員協議会会長の異動

平成29年6月6日

都道府県	新任	前任
青森	めざわ しんいち 目澤 伸一	えびな ぶんしょう 蝦名 文昭
秋田	いたばし いくお 板橋 征男	のなか かな子 野中 歌子
福島	まつだ よしのり 松田 義	いがらし けいけい 五十嵐 啓介
鳥取	うえた ひでみ 上田 秀美	きぬたに 眞幸 絹谷 眞幸
山口	しが みつのり 志賀 光法	ほうり 光雄 祝 光雄
長崎	さご てつや 佐護 哲也	たかはし 貞信 高橋 貞信

(敬称略)

理事の補欠選任

平成29年6月6日

地区	新任	前任
東北	めぎわ しんいち (青森県) 目澤 伸一	えびな ぶんしょう (青森県) 蝦名 文昭
中国	あかぎ こうぞう (岡山県) 赤木 弘蔵	きぬたに ほんこう (鳥取県) 絹谷 眞幸

(敬称略)

第59回全国スポーツ推進委員研究協議会 鹿児島大会 開催要項 (案)

H29.4現在

- 1 趣 旨 全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。
- 2 主 催 スポーツ庁 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 鹿児島県スポーツ推進委員協議会 鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会
- 3 主 管 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会鹿児島県実行委員会
- 4 後 援 鹿児島県 鹿児島市
- 5 期 日 平成30年11月15日(木)～16日(金)
- 6 会 場 ■第1日目 鹿児島アリーナ 鹿児島市永吉1丁目30番地1 Tel.099-285-2244
メインアリーナ -全体会-
- 第2日目 鹿児島アリーナ 鹿児島市永吉1丁目30番地1 Tel.099-285-2244
メインアリーナ -第1分科会-
- 鹿児島市民文化ホール 鹿児島市与次郎2丁目3-1 Tel.099-257-8111
第1ホール -第2分科会-
第2ホール -第3分科会-
市民ホール -第4分科会-
- 7 対 象 スポーツ推進委員, 都道府県・市区町村生涯スポーツ担当者, その他スポーツ関係者

8 日 程

【第1日 11/15 全体会】

11:00	12:00	12:30	13:40	15:00	15:20	16:40
受 付	歓 迎 アトラクション	開会式・表彰式	講 演	休 憩	シンポジウム	

【第2日 11/16 分科会】

9:00	9:30	11:30
受 付	分科会	閉 会

平成28年度 正味財産増減計算書（要約）

資料 4

（単位：円）

科 目	H28年度予算	H28年度決算	差引額	備考
1. 増減の部				
(1) 収益	44,265,000	49,792,114	5,527,114	
受取会費	29,960,000	31,201,500	1,241,500	
正会員会費	1,880,000	1,880,000	0	47都道府県×40,000円
普通会員会費	24,580,000	24,551,500	-28,500	49,103人×500円
賛助会員会費	3,500,000	4,770,000	1,270,000	
事業収益	10,365,000	15,321,462	4,956,462	
資格認定料	650,000	1,063,000	413,000	
海外研修企画料	50,000	0	-50,000	
出版収入	3,790,000	3,915,640	125,640	
グッズ販売収入	5,875,000	10,342,822	4,467,822	
受取助成金等	3,855,000	3,055,200	-799,800	
受取助成金	3,855,000	3,055,200	-799,800	
その他収益	85,000	213,952	128,952	
収益計	44,265,000	49,792,114	5,527,114	
(2) 費用				
事業費+管理費	45,553,760	50,511,653	4,957,893	
グッズ仕入	4,634,000	8,764,761	4,130,761	
人件費	12,653,000	12,605,366	-47,634	
給与	10,493,000	10,608,711	115,711	
法定福利費等	2,160,000	1,996,655	-163,345	
全国大会表彰費	2,202,000	2,245,892	43,892	
事業運営費	3,162,760	3,354,676	191,916	会議費、印刷製本費等
旅費交通費	4,013,000	4,563,712	550,712	
事務所運営費	4,654,000	4,602,547	-51,453	賃借料等
広告宣伝費	2,852,000	2,985,979	133,979	
全国大会・地区研負担金	3,700,000	3,700,000	0	
全国大会負担金	1,000,000	1,000,000	0	
地区研負担金	2,700,000	2,700,000	0	9地区×300,000円
都道府県・初任者研修助成金	3,050,000	3,179,295	129,295	
都道府県研修会助成金	1,850,000	1,800,000	-50,000	36都道府県×50,000円
初任者研修会助成金	1,200,000	1,379,295	179,295	29都道府県×50,000円
ファミリー健康体力向上事業委託費	4,000,000	3,932,148	-67,852	
単年度開催	800,000	800,000	0	山形県
アドバイザー養成	200,000	400,000	200,000	2県×200,000円
測定会開催	3,000,000	2,732,148	-267,852	5県×500,000円
公租公課	390,000	346,750	-43,250	消費税等
その他	243,000	230,527	-12,473	慶弔費、雑費等
費用計	45,553,760	50,511,653	4,957,893	
当期増減額（収益－費用）	-1,288,760	-719,539	569,221	
法人税等	0	206,600	206,600	
収支	-1,288,760	-926,139		

第57回全国スポーツ推進委員研究協議会福井大会（報告）

- 1 趣 旨 全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向性や地域スポーツの今日的な課題について研究協議を行い、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。
- 2 主 催 スポーツ庁 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 福井県スポーツ推進委員協議会
福井県教育委員会 鯖江市教育委員会 越前市教育委員会
- 3 主 管 第57回全国スポーツ推進委員研究協議会福井県実行委員会
- 4 期 日 平成28年11月17日（木）・18日（金）
- 5 大会テーマ スポーツ文化の醸成と地方創生に向けて
- 6 参加者数 [第1日] <開会式・表彰式、講演、シンポジウム>
サンドーム福井 3,258名
- [第2日] <第1分科会>越前市文化センター 大ホール 398名
<第2分科会>鯖江市文化センター ホール 903名
<第3分科会>武生商工会館 パレットホール 277名
<第4分科会>嚮陽会館 多目的ホール 618名
- 7 日 程 [第1日]
- | | | | | |
|-------|---------|-------|-----------|-------|
| 11:00 | 12:30 | 13:40 | 14:00 | 16:30 |
| 受付 | 開会式・表彰式 | | 講演・シンポジウム | |
- [第2日]
- | | | |
|------|---------|-------|
| 9:00 | 9:30 | 11:30 |
| 受付 | 第1～4分科会 | 閉会 |
- 8 内 容 (1) 講演 「スポーツに学ぶコミュニケーション」
～元気・活気・勇気を与えるトーク術～
講師：岩崎 由純 氏（一般財団法人 日本ペップトーク普及協会会長）
- (2) シンポジウム
○テーマ スポーツがもたらす明るく元気な未来への創造
- (3) 分科会
○地域住民のニーズに応じた魅力あるスポーツクラブを目指して
○生涯現役社会の実現に向けたスポーツ推進委員の役割
～スポーツの力で健康長寿社会の実現～
○障害者と垣根を越えたスポーツライフ
～地域住民がともに楽しめるスポーツ環境～
○新たなスポーツの普及・促進とスポーツ推進委員の役割
～ニュースポーツを生かしたスポーツ人口の拡大～



第58回全国スポーツ推進委員研究協議会 茨城大会 開催要項 (案)

H29: 6 現在

大会テーマ

「ファンスポーツ！」～すべての人にスポーツの楽しさを～

- 1 趣 旨 全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。
- 2 主 催 スポーツ庁 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 茨城県スポーツ推進委員協議会 茨城県教育委員会 つくば市
(予定)
- 3 主 管 第58回全国スポーツ推進委員研究協議会茨城県実行委員会
- 4 後 援 茨城県
(予定)
- 5 期 日 平成29年11月 9日(木)～10日(金)
- 6 会 場 ■第1日目 つくばカピオ つくば市竹園1丁目10番地1 Tel.029-851-2886
アリーナ ー全体会ー
- 第2日目 つくば国際会議場 つくば市竹園2丁目20番地3号 Tel.029-861-0001
大ホール ー第1分科会ー
大会議室 ー第2分科会ー
多目的ホール ー第3分科会ー
ノバホール つくば市吾妻1丁目10-1 Tel.029-852-5881
大ホール ー第4分科会ー
- 7 対 象 スポーツ推進委員、都道府県・市区町村生涯スポーツ担当者、その他スポーツ関係者
- 8 日 程 【第1日 11/9 全体会】

11:00	12:00	12:30	13:40	15:00	15:20	16:40
受 付	歓 迎 アトラクション	開会式・表彰式	講 演	休憩	シンポジウム	

【第2日 11/10 分科会】

9:00	9:30	11:30
受 付	分科会	閉 会

9 内 容

(1) 講 演 演題 「私の野球人生」

講 師 大久保 博元 氏 (前 東北楽天ゴールデンイーグルス監督)

(2) シンポジウム

テーマ 「スポーツの力で楽しい未来を創る」

- コーディネーター 松尾 哲矢 氏 (立教大学教授)
- シンポジスト 柳沢 和雄 氏 (筑波大学体育系教授)
- 金 憲経 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)
- 及川 力 氏 (筑波技術大学名誉教授)
- 佐藤 善人 氏 (東京学芸大学准教授)

(3) 分科会

〈第1分科会〉つくば国際会議場 大ホール

テーマ「誰もがいつでも楽しく～気軽に参加できるスポーツクラブで地域の活性化～」

- コーディネーター 柳沢 和雄 氏 (筑波大学体育系教授)

〈第2分科会〉つくば国際会議場 大会議室

テーマ「誰もがどこでも楽しく～スポーツの力で心身の健康の保持増進を～」

- コーディネーター 金 憲経 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)

〈第3分科会〉つくば国際会議場 多目的ホール

テーマ「誰もが一緒に楽しく～ユニバーサルなスポーツの振興を目指して～」

- コーディネーター 及川 力 氏 (筑波技術大学名誉教授)

〈第4分科会〉ノバホール 大ホール

テーマ「誰もがいつまでも楽しく～子供のころからのスポーツ習慣確立に向けて～」

- コーディネーター 佐藤 善人 氏 (東京学芸大学准教授)

10 参加費 3,000円 (資料代等)

11 お問い合わせ・お申込み

■大会要項に関してのお問い合わせ

第58回全国スポーツ推進委員研究協議会茨城県実行委員会事務局 担当：中山
〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978番6 TEL 029-301-5361

■参加申込・宿泊・支払いに関してのお問い合わせ

東武トップツアーズ株式会社 水戸支店 担当：粟野
〒310-0803 茨城県水戸市城南2-1-20 南ウィング水戸ビル6F
TEL 029-224-6627

リーダー委員会について

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

1. 目的

東京都における新任及び経験5年程度までのスポーツ推進委員に向けて、スポーツ推進委員としてより深い理解と意義などを学ぶための研修を実施し、各地区のスポーツ推進委員との交流、親睦を図る機会を提供する。

2. 発足の経過

- ・ 平成28年7月14日 (仮称)リーダー会発足
- ・ 平成29年2月9日 平成29年2月8日理事会決定により、リーダー委員会として正式発足(東京都スポーツ推進委員協議会の特別委員会として位置づけ)

3. 構成

- ・ (公社)全国スポーツ推進委員連合主催のスポーツ推進委員リーダー養成講習会を修了した東京都スポーツ推進委員協議会の正会員及び一般会員で構成
- ・ 委員長1名、副委員長2名
- ・ 委員数18名(平成29年6月現在)

4. 役割

新任及び経験5年程度までのスポーツ推進委員を対象とした研修会の資料を作成し、その研修会の講師を務める。

5. 事業内容等

- ・ 研修内容 スポーツ推進委員ハンドブックの内容に沿った研修を実施
- ・ 研修時期 新年度上半期を中心に、年に3～4回程度実施の予定
- ・ 研修対象者 新任および経験5年程度までのスポーツ推進委員

6. 今後の予定

- ・ 平成29年度は準備期間とし、研修資料の作成、講師トレーニング等を実施
- ・ 平成30年度から研修を開始予定

7. その他

- ・ 講師料は無料
- ・ 会場手配、会場使用料、資料印刷費等は開催地区の負担

平成29年度公益社団法人全国スポーツ推進委員連合機関誌『みんなのスポーツ』購読数

平成29年5月25日現在、スポーツ推進委員数は平成28年8月現在（日本体育社）

No.	所属	平成29年度					平成28年度		
		購読数	スポ進数	購読率	購読市町村数・率	市町村数	購読数	購読率	
1	北海道	183	2,458	7.4%	69	38.5%	179	180	7.3%
2	青森	37	561	6.6%	21	52.5%	40	37	6.6%
3	岩手	47	711	6.6%	22	66.7%	33	87	12.2%
4	宮城	100	1,023	9.8%	17	48.6%	35	110	10.8%
5	秋田	67	672	10.0%	23	92.0%	25	52	7.7%
6	山形	32	782	4.1%	16	45.7%	35	36	4.6%
7	福島	380	1,226	31.0%	33	55.9%	59	382	31.2%
8	茨城	101	1,211	8.3%	31	70.5%	44	115	9.5%
9	栃木	99	746	13.3%	22	84.6%	26	100	13.4%
10	群馬	50	893	5.6%	16	45.7%	35	48	5.4%
11	埼玉	166	2,185	7.6%	42	66.7%	63	150	6.9%
12	千葉	264	2,123	12.4%	39	72.2%	54	262	12.3%
13	東京	409	1,491	27.4%	35	56.5%	62	442	29.6%
14	神奈川	173	4,744	3.6%	23	69.7%	33	170	3.6%
15	山梨	72	677	10.6%	21	77.8%	27	81	12.0%
16	長野	63	1,079	5.8%	27	35.1%	77	62	5.7%
17	新潟	62	1,191	5.2%	19	63.3%	30	49	4.1%
18	富山	206	1,185	17.4%	15	100.0%	15	242	20.4%
19	石川	76	502	15.1%	19	100.0%	19	57	11.4%
20	福井	75	531	14.1%	17	100.0%	17	66	12.4%
21	岐阜	194	1,050	18.5%	42	100.0%	42	226	21.5%
22	静岡	173	1,323	13.1%	27	77.1%	35	175	13.2%
23	愛知	844	2,542	33.2%	52	96.3%	54	858	33.8%
24	三重	93	833	11.2%	17	58.6%	29	96	11.5%
25	滋賀	113	543	20.8%	17	89.5%	19	122	22.5%
26	京都	51	1,043	4.9%	14	53.8%	26	54	5.2%
27	大阪	72	2,105	3.4%	27	62.8%	43	75	3.6%
28	兵庫	137	1,330	10.3%	31	75.6%	41	161	12.1%
29	奈良	26	491	5.3%	10	25.6%	39	29	5.9%
30	和歌山	57	491	11.6%	12	40.0%	30	75	15.3%
31	鳥取	55	520	10.6%	13	68.4%	19	114	21.9%
32	島根	47	528	8.9%	10	52.6%	19	40	7.6%
33	岡山	192	918	20.9%	16	59.3%	27	267	29.1%
34	広島	337	1,352	24.9%	21	91.3%	23	347	25.7%
35	山口	276	670	41.2%	18	94.7%	19	276	41.2%
36	徳島	137	427	32.1%	13	54.2%	24	137	32.1%
37	香川	184	526	35.0%	17	100.0%	17	214	40.7%
38	愛媛	38	792	4.8%	13	65.0%	20	42	5.3%
39	高知	42	455	9.2%	15	44.1%	34	48	10.5%
40	福岡	384	1,653	23.2%	51	85.0%	60	398	24.1%
41	佐賀	139	641	21.7%	19	95.0%	20	138	21.5%
42	長崎	124	798	15.5%	15	71.4%	21	106	13.3%
43	熊本	105	1,287	8.2%	31	68.9%	45	122	9.5%
44	大分	173	711	24.3%	10	55.6%	18	197	27.7%
45	宮崎	113	440	25.7%	20	76.9%	26	114	25.9%
46	鹿児島	83	1,098	7.6%	30	69.8%	43	100	9.1%
47	沖縄	62	423	14.7%	19	46.3%	41	70	16.5%
	合計	6913	50,981	13.6%	1,107	63.5%	1,742	7,329	14.4%

※購読率(%)=購読数÷委員数×100

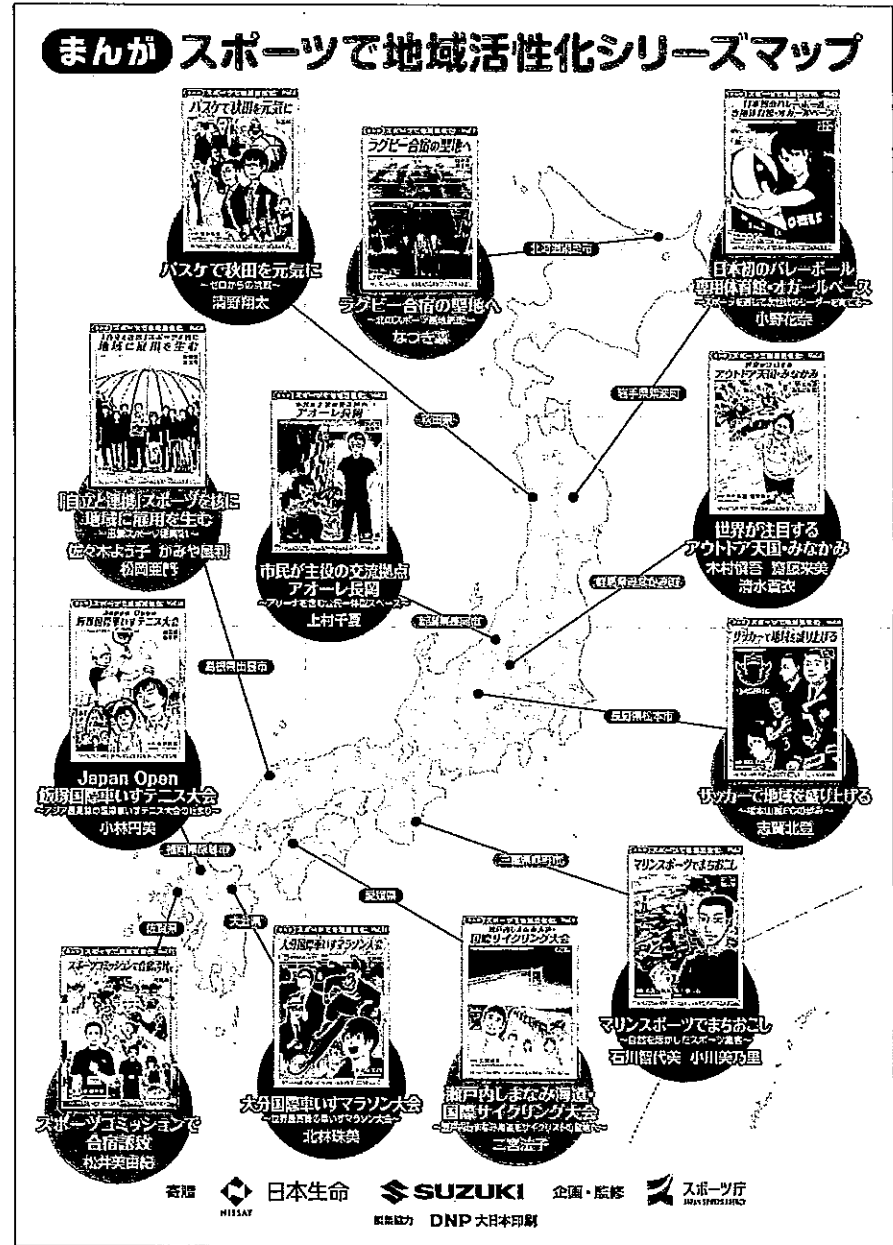
購読市町村率(%)=購読市町村数÷市町村数×100

2017年版 スポーツ推進委員手帳頒布数

平成29年5月25日現在、スポーツ推進委員数は平成28年8月現在（日本体育社）

NO.	都道府県	2017版手帳	スポーツ進数	購入率	2016版手帳		NO.	都道府県	2017版手帳	スポーツ進数	購入率	2016版手帳	
					販売数	売上戻し金						販売数	売上戻し金
1	北海道	550	2,458	22.4%	490	29,400	25	滋賀	379	543	69.8%	393	23,580
2	青森	261	561	46.5%	253	15,180	26	京都	546	1,043	52.3%	588	35,280
3	岩手	390	711	54.9%	375	22,500	27	大阪	297	2,105	14.1%	363	21,780
4	宮城	676	1,023	66.1%	682	40,920	28	兵庫	462	1,330	34.7%	452	27,120
5	秋田	186	672	27.7%	240	14,400	29	奈良	187	491	38.1%	230	13,800
6	山形	283	782	36.2%	262	15,720	30	和歌山	84	491	17.1%	65	3,900
7	福島	1,002	1,226	81.7%	1,001	60,060	31	鳥取	220	520	42.3%	220	13,200
8	茨城	713	1,211	58.9%	640	38,400	32	島根	252	528	47.7%	263	15,780
9	栃木	561	746	75.2%	578	34,680	33	岡山	424	918	46.2%	437	26,220
10	群馬	336	893	37.6%	365	21,900	34	広島	457	1,352	33.8%	418	25,080
11	埼玉	1,051	2,185	48.1%	1,102	66,120	35	山口	537	670	80.1%	542	32,520
12	千葉	762	2,123	35.9%	821	49,260	36	徳島	187	427	43.8%	191	11,460
13	東京	793	1,491	53.2%	782	46,920	37	香川	498	526	94.7%	486	29,160
14	神奈川	864	4,744	18.2%	828	49,680	38	愛媛	490	792	61.9%	497	29,820
15	山梨	536	677	79.2%	620	37,200	39	高知	143	455	31.4%	152	9,120
16	長野	328	1,079	30.4%	325	19,500	40	福岡	1,010	1,653	61.1%	996	59,760
17	新潟	392	1,191	32.9%	413	24,780	41	佐賀	423	641	66.0%	429	25,740
18	富山	631	1,185	53.2%	714	42,840	42	長崎	356	798	44.6%	349	20,940
19	石川	349	502	69.5%	419	25,140	43	熊本	752	1,287	58.4%	758	45,480
20	福井	147	531	27.7%	107	6,420	44	大分	354	711	49.8%	356	21,360
21	岐阜	742	1,050	70.7%	731	43,860	45	宮崎	170	440	38.6%	153	9,180
22	静岡	556	1,323	42.0%	558	33,480	46	鹿児島	465	1,098	42.3%	489	29,340
23	愛知	1,177	2,542	46.3%	1,170	70,200	47	沖縄	232	423	54.8%	225	13,500
24	三重	273	833	32.8%	247	14,820		合計	22,484	50,981	44.1%	22,775	1,366,500

※売上戻し金の計算方法…手帳冊数×¥60



※まんがについては、スポーツ庁HPのリンク先にて順次公開いたします

ファミリー健康体力向上事業を通じて、 自発的にスポーツに親しむきっかけづくりを

はじめに
北杜市スポーツ推進委員協議会は、山梨県スポーツ推進委員協議会が実施する全国スポーツ推進委員連合の公益目的事業「ファミリー健康体力向上アドバイザー資格取得講習会」に参加し、28名のスポーツ推進委員がアドバイザーの資格を取得しました。以来、平成

そもそも、当協議会では、平成19年より、小学校と連携しながら、体力検定を実施してきたという背景があり、体力検定にあたって、スポーツ推進委員は「スポーツ推進委員ハンドブック」(全国連合)や「みんなのスポーツ」等で情報・知識の収集に励み、指導に臨んできました。体力測定は知識・技術を習得した「アドバイザー」の資格

北杜市教育委員会
生涯学習課社会教育担当 小松洋平

26年度より、北杜市スポーツ推進委員協議会(以下、当協議会)において、「ファミリー健康体力向上事業」を実施して

実施しましたが、翌年以降は市で予算を計上し、事業を実施しています。

体力測定会を実施する上での姿勢

測定会では、このような感想をいただくことはなかったと思います。本市では特に「3世代」での参加を強調し、銘打つたことにより、「子どもと参加したい」「子どもと触れ合いたい」と考える親をはじめ、高齢者の中には「孫」との体力測定会参加に生きがいを感じる方も多いいことを考えると、「3世代」で参加することのメリットやこの事業が持つ意義や可能性を再認識しています。

本市では、ファミリー健康体力向上事業の参加者が、「家族」「3世代」で

を有する者が中心となって現場で対応することで、学校の先生や保護者との信頼関係を築く礎となっています。ちなみに、市内にある長坂小学校では、先生、保護者の方々と推進委員が協力し合って体力測定を行っています。その中で推進委員は的確な指導・助言を行うとともに、体力測定会をスムーズに進行・運営し、正確な測定を行うこ

体力測定を行うお互いに(子ども、親祖父母が)スポーツをしている姿を見る↓家族の間で体力測定の話になるという図式が成立し、その結果、家族でスポーツに向き合う機会になると捉え、このことが「自発的にスポーツに親しむきっかけ」になるのではとと考えています。

県も資格取得を奨励

平成28年度より、山梨県スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員が学校で体力検定を行うことができるよう、「ファミリー健康体力向上アドバイザー」の資格取得が可能な県研修会の開催を開始しました。これを受け、当協議会の推進委員4名がアドバイザーの資格を取得。県では、毎年研修会を継続させ、より多くの県内のスポーツ推進委員に資格取得を呼び掛けています。背景には、正確な測定および指導は参加者のためにも必要であり、かつ「ファミリー健康体力向上事業」を通じて、推進委員がコーディネーターとなり、学校、地域、行政が連携・協働することで、地域における課題の解

とはもとより、効率的な事業実施や安心・安全面への心配りをする等、大きな役割を担っています。

近年、子どもの体力低下が問題視される中、(スポーツ推進委員は)小学校での体力測定で培った知識や経験をもとに、子どもの体力低下を向上させるには、幼少時からの運動習慣が基本的な運動能力を養うことにつながることを、「走る」「投げる」「飛ぶ」といった基本的な運動を遊びの中に取り入れた体力測定会を県内初となる「保育園」で実施することができました。

この試みが、子どもの体力向上につながるように事業を継続していきたいと考えています。

ファミリー健康体力向上事業の成果

「今の自分の体力を知りたかった」「子どもと同じ種目で参加できたことが楽しかった」「子どもたちとふれ合いながら楽しむことができた」「自分の体力の低下を実感した」など、参加者の皆さんからさまざまな感想をいただいています。成人のみを対象にした

決につなげていこうという考えに立脚しています。

今後の課題・展望

「ファミリー健康体力向上事業」は、今後、地域住民の意見や要望を反映した事業にしていかなければなりません。それには、スポーツ推進委員の専門的知識(資格取得)が必須です。まずは県の実技研修会に参加し、北杜市スポーツ推進委員全74名の取得を目標に、そして市民の方々のさらなる参加を目指して、市民の手で「スポーツの町」を築きあげていきたいと思えます。

現在、北杜市は、スポーツ推進委員1人につき、約600名のスポーツ推進を図ることが求められています。このことを常々、自覚し、協議会のスロガンである「市民のスポーツ実施率の向上」を実現させるべく、市民一人ひとりが自らの体力を把握し、自分に合ったスポーツを見つけ、長期にわたって身体を動かすことができる習慣づくり、環境づくりを推し進め、一歩一歩着実に成果を上げていきたいと考えています。



平成28年ファミリー健康体力向上事業



平成26年度県アドバイザー研修会

スポーツ基本計画

平成29年3月24日 文部科学省
(抜粋)

第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、
そのための人材育成・場の充実

【政策目標】

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行う。その結果として、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度（障害者は40%程度・・・）、週3回以上が30%程度（障害者は20%程度・・・）となることを目指す。

(2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

〔施策目標〕

スポーツに関わる人材の全体像を把握しつつ、アスリートのキャリア形成支援や、指導者、専門スタッフ、審判員、経営人材などスポーツ活動を支える人材の育成を図ることにより、スポーツ参画人口の拡大に向けた環境を整備する。

<スポーツ推進委員等>

ツ 国は、地方公共団体が委嘱するスポーツ推進委員について、総合型クラブや地域のスポーツ団体等との連携・協働を促進することができる優れた人材の選考と研修の充実を支援することにより、地域スポーツの振興をささえる人材の資質向上を図る。

テ 国は、地方公共団体及びスポーツ団体と連携し、研修等の海外の最先端のスポーツ政策を学ぶ機会を充実し、我が国のスポーツ施策を推進する人材の資質を向上させる。

スポーツ基本計画・・・スポーツ基本法(2011(平成23)年公布・施行)に基づき、文部科学大臣が定める計画。第2期は2017(平成29)年度～2021(平成33)年度。

第1期基本計画

第2期基本計画



「みる」
「さえる」

スポーツ参画人口
の拡大

スポーツ実施率(週1)
42% ⇒ 65%

スポーツをする時間を
持ちたいと思う中学生
58% ⇒ 80%

スポーツに関わる人材の確保・育成

総合型地域スポーツクラブの
中間支援組織を整備 47都道府県

学校施設やオープンスペースの有効活用

大学スポーツアドミニストレーター
を配置 100大学

など

ポイント2

数値を含む成果指標を第1期計画に
比べ大幅に増加(8⇒20)。

ポイント1
スポーツの価値を具現化し発信。
スポーツの枠を超えて異分野と積極的に連携・協働。

～ スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～

「人生」が変わる！

スポーツで
人生を健康で生き生きと
したものにできる。

「社会」を変える！

共生社会、健康長寿社会の
実現、経済・地域の活性化
に貢献できる。

「世界」とつながる！

多様性を尊重する世界
持続可能で逆境に強い世界
クリーンでフェアな世界
に貢献できる。

「未来」を創る！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、
スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、
レガシーとして「一億総スポーツ社会」を実現する。

3 国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピックにおいて
過去最高の金メダル数を獲得する等
優秀な成績を収められるよう支援

中長期の強化戦略に基づく支援
次世代アスリートの発掘・育成
スポーツ医・科学等による支援
ハイパフォーマンスセンター等の充実

4 クリーンでフェアな
スポーツの推進

インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を高める

コンプライアンスの徹底
スポーツ団体のガバナンス強化
ドーピング防止

2

スポーツを通じた
活力があり絆の
強い社会の実現

障害者のスポーツ実施率(週1)
19% ⇒ 40%

スポーツを通じた健康増進
女性の活躍促進

スポーツ市場規模の拡大
5.5兆円 ⇒ 15兆円(2025年)

スポーツツーリズムの関連消費額
2,204億円 ⇒ 3,800億円

戦略的な国際展開
100か国以上1,000万人以上にスポーツで貢献
2020年東京大会等の円滑な開催

など

ポイント3

障害者スポーツの振興やスポーツの
成長産業化など、スポーツ庁創設後
の重点施策を盛り込む。